

小規模企業景気動向調査

[平成27年10月期調査]

～弱い動きで足踏み状態の小規模企業景況～

2015年11月25日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2015年10月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…弱い動きで足踏み状態の小規模企業景況…◇

10月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は若干改善となった。項目別に見ると、売上額及び資金繰りDIはわずかに改善、採算DIは小幅改善となった。各項目とも改善となったが動きとしてはまだ小さく、経営指導員からは、一部に好調な企業もあるが全体的には停滞感が強いなどの報告があった。

<製造業> ◇…中国経済減速の影響で輸出関連が振るわず、わずかに悪化した製造業…◇

製造業の業況DIは、わずかに悪化となった。項目別に見ると、売上額DIはわずかに悪化、採算及び資金繰りDIは小幅改善となった。経営指導員から、悪化材料として、①機械・金属加工等の輸出関連で、中国経済が不調であるため、受注が減少している、②食品関連で、原材料費の高騰分を販売価格に転嫁できず、業況が悪化しているなどの報告があった。また、好転材料としては、建設機械・建材関連や一部の自動車関連で受注が好調であるなどの報告があった。

<建設業> ◇…公共工事や住宅リフォームの受注が増加するも慢性的な人手不足が続く建設業…◇

建設業の業況DIは、わずかに改善となった。項目別に見ると、売上額DIは不変、採算及び資金繰りDIは若干改善となった。経営指導員から、好転材料として、①一部地域の土木関連で、公共工事の受注がようやく回復してきた、②住宅関連で、町による補助制度があるためリフォームが増加しているなどの報告があった。また、悪化材料としては、慢性的な人手不足が続いており、収益が悪化しているなどの報告があった。

<小売業> ◇…秋祭りなど季節的な需要により、やや持ち直した小売業…◇

小売業の業況DIは、小幅改善となった。項目別に見ると、売上額及び資金繰りDIはわずかに改善、採算DIは小幅改善となった。経営指導員から、好転材料として、①食料品関連で、地域の祭りなどイベントでの需要があり、売上が若干伸びた、②プレミアム付き商品券の効果が限定的に持続しているなどの報告があった。また、悪化材料としては、プレミアム付き商品券の終了や食料品・日用品の値上げで、消費者の購買意欲が低迷しているなどの報告があった。

<サービス業> ◇…行楽シーズンで宿泊関連が回復し、若干改善したサービス業…◇

サービス業の業況DIは、若干改善となった。項目別に見ると、売上額及び資金繰りDIはわずかに改善、採算DIは小幅改善となった。経営指導員から、好転材料として、①宿泊関連で、行楽シーズンを迎え、中高年観光客やインバウンドが増加し売上が伸びている、②理美容業で、イベントや結婚式などにかかわる需要を取り込み好調であったなどの報告があった。また、悪化材料としては、飲食関連で、大手チェーン店への流出や消費者の節約志向が原因で、来客数が減少したなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 14.9	▲ 14.4	0.5	▲ 7.2	▲ 8.3	▲ 1.1	▲ 11.1	▲ 10.7	0.4
採算	▲ 21.3	▲ 18.3	3.0	▲ 18.4	▲ 16.3	2.1	▲ 20.1	▲ 18.5	1.6
資金繰り	▲ 17.6	▲ 16.4	1.2	▲ 17.1	▲ 14.8	2.3	▲ 18.0	▲ 16.9	1.1
業況	▲ 21.9	▲ 20.6	1.3	▲ 18.9	▲ 20.1	▲ 1.2	▲ 17.9	▲ 16.8	1.1

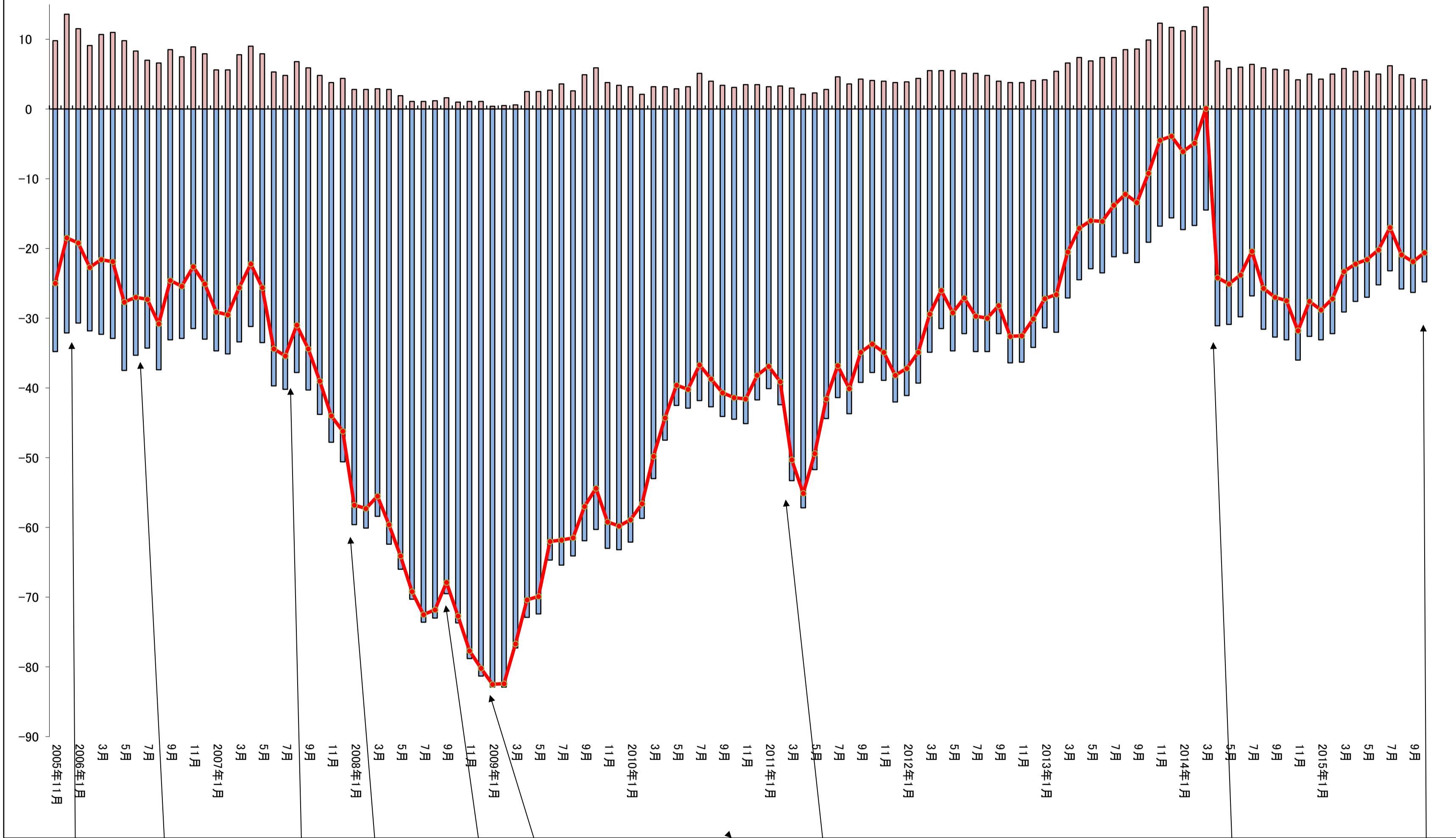
業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 25.3	▲ 24.3	1.0	▲ 15.8	▲ 14.6	1.2
採算	▲ 28.6	▲ 24.2	4.4	▲ 17.8	▲ 14.3	3.5
資金繰り	▲ 22.8	▲ 21.7	1.1	▲ 12.5	▲ 12.0	0.5
業況	▲ 32.3	▲ 29.0	3.3	▲ 18.2	▲ 16.6	1.6

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年01月16日
ライブドア強制捜査

06年7月14日
日銀ゼロ金利政策解除

07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファ
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に
引上げ

15年/10月
-20.6

小規模企業景気動向調査(10月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・好況感はあまり感じられないが一部に回復傾向が見られる
(愛知県小原商工会)
- ・消費税増税の反動は一段落してきた。消費も徐々に回復傾向。
(茨城県水戸市内原商工会)
- ・プレミアム商品券第2弾が10月に発売されたこともあり、食品・衣料品小売り、理美容については売上に影響があったようだ。
(宮崎県新富町商工会)
- ・プレミアム商品券の影響から、消費者の購買意欲向上が見られる。
(埼玉県鳩山町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・円安の影響で好調業種もあるが、地方の経済はその好循環があまり感じられない企業が多い。
(長野県佐久市望月商工会)
- ・大型店の出店が増え、地域スーパーが倒産し、地域経済動向が変動している状況。
(奈良県田原本町商工会)
- ・業種に関わりなく、地域経済が疲弊していることが伺える。また、今月は期待に反して曇りや雨の日が多く気温の低い日が続いたため、好調であった宿泊業にも陰りが見え始めた。
(石川県能登町商工会)
- ・金属加工業等一部製造業は売り上げ増があったが、一時的なものであるとの見方で、その他業種売上については例年並み、若干減との意見がほとんどであった。
(宮城県栗原南部商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・トラックやバスの製造業や建機・航空機部品製造業は好況である。
(東京都羽村市商工会)
- ・建材製造業の事業者で、メーカーの下請けを行っているが、納期が遅延するほど受注が混んでいる。はっきりとした要因は分からない。
(福井県福井西商工会)
- ・建設機材関連企業は、好調であるが、原材料の上昇や人手不足などから収益が伸び悩んでいる企業もあり、取引先により格差がある。
(香川県さぬき市商工会)
- ・機械金属製造業では、依然として取引は安定しているが、単価が低いなどの原因から、大きな好転には至っていない状況である。
(鳥取県米子日吉津商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・中国経済が不調(GDPが6.9%に低下等)であるため、金属加工関連事業の受注量が減少している。
(福島県檜葉町商工会)
- ・輸出関連の製造業は中国経済の停滞の影響を受け、受注減となっている。
(石川県富来商工会)
- ・仕出し製造業では、天候不順による引き続きの野菜価格高騰の影響で採算が悪化している。
(岡山県備前東商工会)
- ・食料品関連の製造業は、原材料の仕入値高騰が原因のため、単価を高く設定している。そのぶん売上は上がっているが仕入値が高いため採算性は変わらない状況になっている。
(千葉県鋸南町商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・第2弾の住宅リフォーム助成制度の効果で、個人住宅のリフォーム工事が増えているが、事業所間で工事受注の差がある。
(北海道乙部町商工会)
- ・公共工事及びリフォーム、新築等増加傾向であり、業況は良い
(京都府向日市商工会)
- ・公共事業の増加の為、安定した受注が続いている。
(福岡県小竹町商工会)
- ・一般住宅施工関連の建設業は、小規模事業者持続化補助金で取り組んだ販路開拓事業がもうすぐ完了するため、今後の効果に期待している。
(静岡県岡部町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・原材料、資材単価や運送費の上昇や為替変動などの影響により、薄利の状態が続いている。また、人手不足が慢性化しているほか熟練した技術者が不足しており、他社から派遣対応している関係で経費が増加して収益が悪
(富山県射水市商工会)
- ・仕事を取っても経費や人件費を支払えばほとんど利益がなく、ギリギリの状態、かなり厳しいとの意見がある。廃業が相次いでいる。
(高知県中土佐町商工会)
- ・慢性的な人手不足が続く。場所的にも不利で長い間募集をかけても反応が無い。
(島根県まつえ北商工会)
- ・全般的に低調である。公共工事の動きも鈍く、資金繰りの悪化も懸念される。住宅の着工件数も伸び悩んでいる。
(秋田県由利本荘市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

- ・食品関連の小売業は、秋祭り等のイベントがあり売上の増進に繋がった。
(新潟県小国町商工会)
- ・商品券事業の効果は限定的に持続。
(愛媛県保内町商工会)
- ・一時的ではあるが地域商品券の影響でやや好調
(大分県日出町商工会)
- ・衣料品関連の小売業は、全体的に前年と変わらないが、急激な気温低下から秋物衣料が売れて、多少回復した感がある。
(鳥取県中部商工会産業支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・小売業全体的に、プレミアム商品券発行時の一時的な消費も落ち着き、その反動でわずかながら売上が減少している。
(愛知県長久手市商工会)
- ・食品関連は仕入単価が上昇傾向続く。全般に消費者の購買意欲は低調で、プレミアム商品券効果も薄れた。
(山梨県笛吹市商工会)
- ・青果関連の小売業は野菜の仕入れ値が高い為消費者が余分なものを買っていかないため売上がのびていない。
(静岡県浜名商工会)
- ・食料品関連の小売業は、大型店等との価格競争のため、採算性が悪化している。
(青森県大畑町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

- ・観光季節になり、団塊の世代 中高年層の客層が増加している。宿泊、飲食が忙しい。
(愛媛県上島町商工会)
- ・宿泊業に関してふるさと旅行券の利用や秋の紅葉に時期の観光に合わせて宿泊者の増加が見られる。この効果は11月の下旬ころまでは見込めるが、それ以降は不透明であり前年とほぼ変わらない状態で推移すると思われる。
(新潟県黒埼商工会)
- ・旅館・ホテル業は、相変わらず中国からの観光客が多く売上が好調です。
(山梨県富士川町商工会)
- ・理美容業に関しては、昔より、イベントや結婚式などのヘアメイクを自分でやらずに店に依頼する人が多くなったとのこと。お祭なども若者や子供を中心に凝ったヘアメイクをしている人が多い。
(静岡県大須賀町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・特に飲食店の売上が低調であります。
(山形県南陽市商工会)
- ・大手チェーン店は好況のようであるが、個人店の業況は厳しく、事業者の方々は消費税増税と軽減税率についての関心が高い。
(東京都羽村市商工会)
- ・理美容関連のサービス業は、消費低迷のため、売上は微減状況が続いている。
(長崎県対馬市商工会)
- ・飲食関連のサービス業は、地域外からの顧客の取り込みが難しい地域であるため、地域の人口減少など今後の先行きを不安視している。
(岐阜県山県市商工会)